

口永良部島山頂部の地盤変動

産総研 地質調査総合センター

京大防災研 火山活動研究センター

2004 年から GPS 連続観測を実施中である。山頂部の観測点は、新岳山頂火口の北西約 200m の SDW と同南約 500m の FDK の 2 箇所である (図 1)。GPS 受信機は 1 周波型で、観測データは携帯電話回線を利用して回収している。SDW では、これまでに 4 回の膨張を検出した (図 2, 図 3 の太矢印)。前回の 10 月の報告以降、2 月 28 日までの期間では、10 月初旬に両観測点が沈降する変化が見られた後、11 月頃から新岳火口の膨張傾向が続いていると見られる。

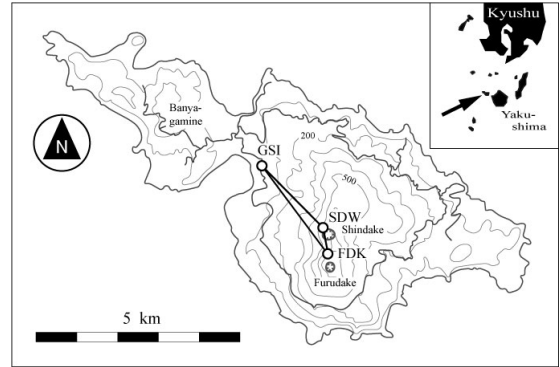


図 1 GPS 観測点及び基線配置
GSI は国土地理院の GEONET 観測点。
地形図は国土地理院の 1/5 万地形図を元にした。

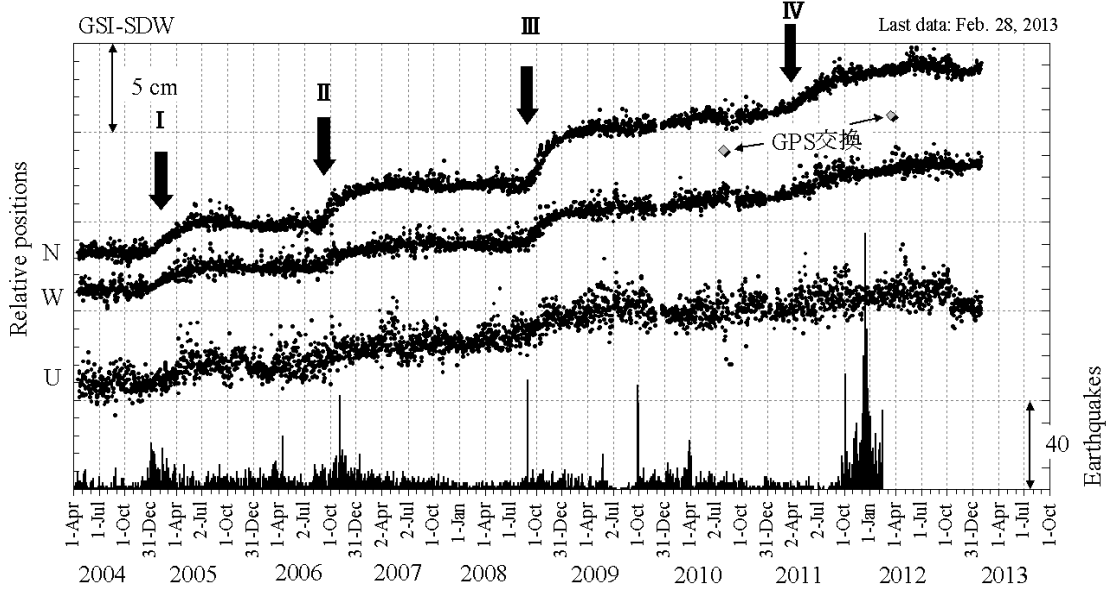


図 2 GSI-SDW の 2004 年 4 月からの 3 成分相対変位
地震数のグラフは 2012 年 2 月 22 日まで。

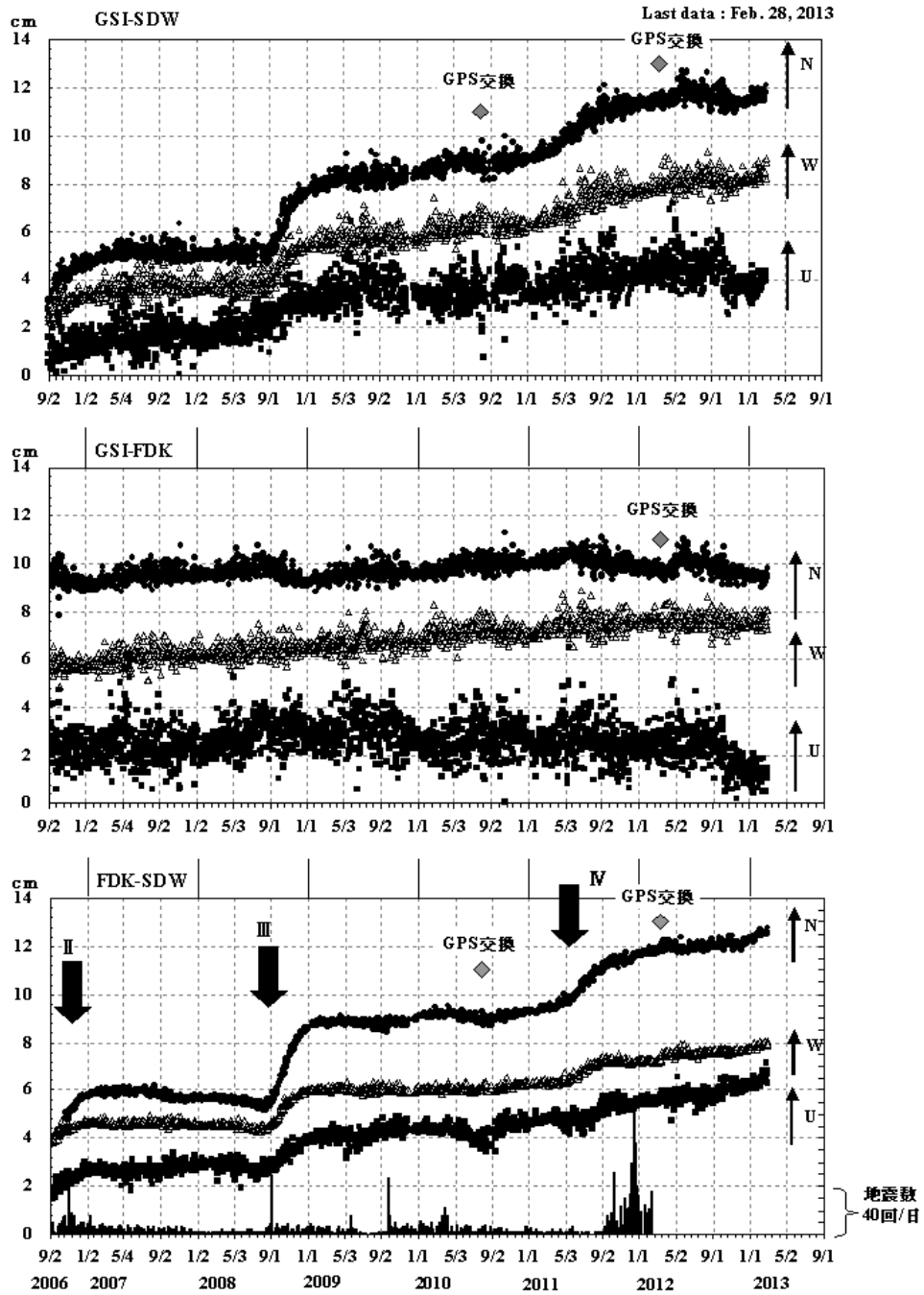


図3 GSI-SDW-FDKの2006年9月からの3成分相対変位
地震数のグラフは2012年2月22日まで。